

今の代の天台眞言等の諸宗の僧等をやしなうは、外は善根とこそ見ゆれども、内は十悪五逆にもすぎたる大悪なり。しかれば代のをさまらん事は、大覺世尊の智慧ごとくなる智人世に有て、仙豫國王のごとくなる賢王とよりあひて、一向に善根をとどめ、大悪をもて八宗の智人とをもうものを、或はせめ、或はながし、或はせ(施)をとどめ、或は頭をはねてこそ、代はすこしをさまるべきにて候へ。法華經の第一の卷の諸法實相乃至唯佛與佛乃能究盡ととかれて候はこれなり。本末究竟と申は、本者惡のね(根)善の根、末と申は惡のをわり善の終ぞかし。善惡の根本枝葉をさとり極めたるを佛とは申なり。天台云、夫一心具十法界等云云。章安云、佛尙此爲大事何可得易解也。妙樂云、乃是終窮究竟極說等云云。法華經云、皆與實相不相違背等云云。天台承之云、一切世間治生產業皆與實相不相違背等云云。智者とは世間の法より外に佛法を行ず。世間の治世の法を能々心へて候を智者とは申なり。殷の代の濁て民のわづらいしを、大公望出世して殷の紂が頸を切て民のなげきをやめ、二世王が民の口にながし、張良出て代ををさめ民の口をあまくせし。此等は佛法已前なれども、教主釋尊の御使として民をたすけしなり。外經、人々はしらざりしかども、彼等の人々の

①第6紙15行②夫=若③第7紙14行④治=地⑤〔に〕一⑥第8紙14行